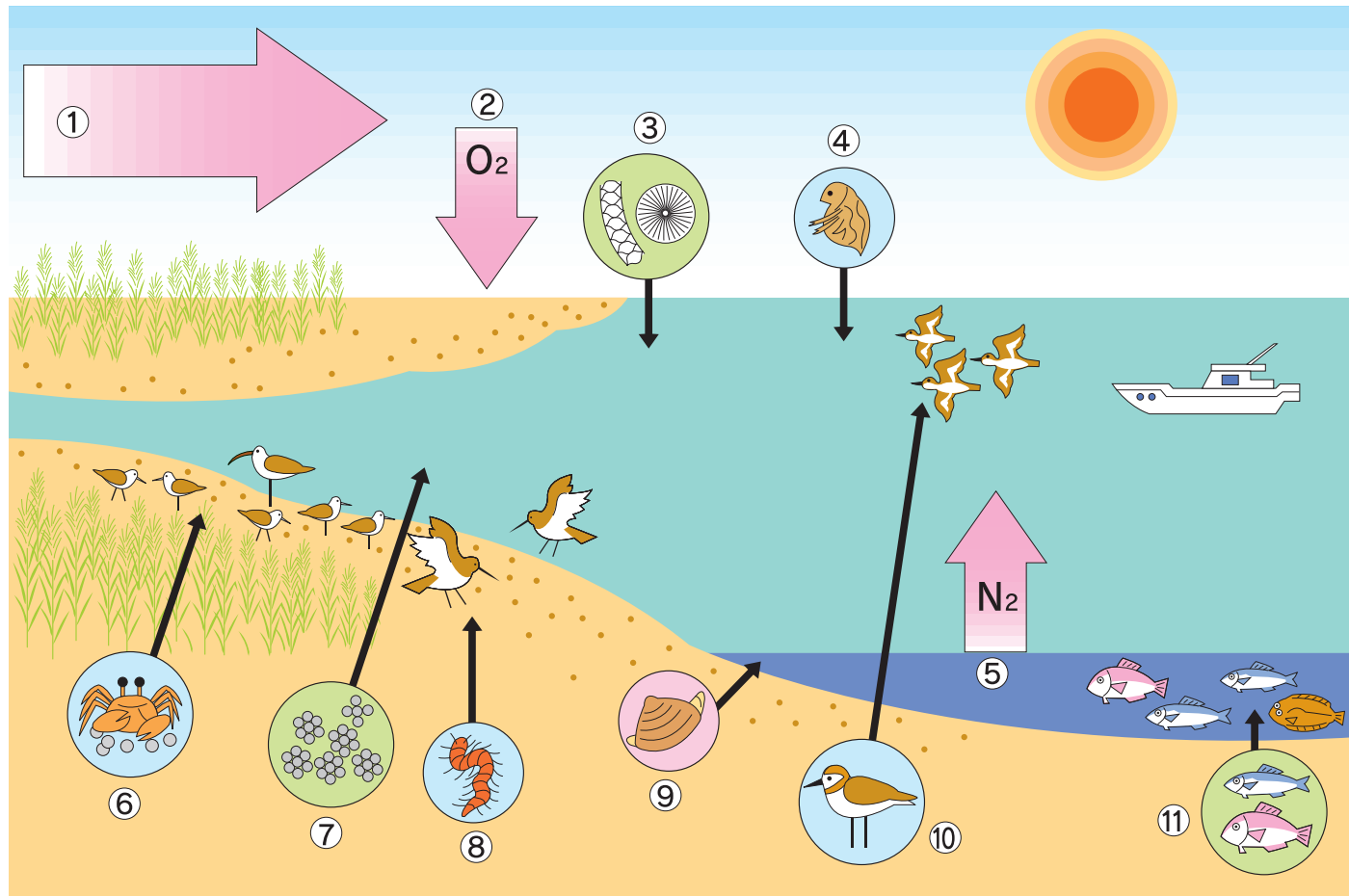


## 干潟の食物連鎖と浄化作用

(逸見泰久著「和白天潟の生きものたち」海鳥社より引用)



- ① 川から多量の無機物(窒素・リンなど)、有機物(落葉・家庭排水など)が干潟に流れ込む。
- ② 潮の満ち引きによって、多量の酸素が海水に溶け込む。
- ③ 干潟や浅海域は生物が多いので、多量の窒素・リン、有機物が消費される。植物プランクトンや海藻(草)は、窒素・リンを栄養にして成長する。
- ④ 動物プランクトンは有機物や植物プランクトンを食べる。
- ⑤ 窒素の一部は細菌に分解されて窒素ガスとなり、空気中に出ていく。

- ⑥ 干潟の表面には珪藻やデトリタスが多い。コメツキガニやウミニナはそれを食べている。
- ⑦ 細菌は干潟に流れ込んだ有機物や生物の死体・糞を分解する。
- ⑧ ゴカイは泥の中の有機物を食べる。
- ⑨ アサリは海水中の有機物をこし取って食べる。
- ⑩ シギ・チドリ類は、カニやゴカイを食べることで、川から流れ込んだ有機物を干潟の生態系から運び出している。
- ⑪ 魚は干潟や浅海域の底生動物を食べて成長する。